

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	消防署横倉庫			No.	99
大分類	14その他(普通財産を含む)				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	建設部土木課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	市道管理上必要な資材等(安全施設や放置物も含む)を保管するため必要な施設であるが、保管先を現場事務所へ移動することにより廃止することが出来る。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	引越し・整理整頓								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	本施設の返還時期（4月）が完了済。 消防署横倉庫の整理整頓及び不用品の処分。 現場事務所の整理整頓及び不用品の処分。		現場事務所の返還が完了し、清掃、不良品の処分を一定程度実施したが未完了。消防署横倉庫の資材を一部移動したが、重量物が多数あり移動に労力がかかることから未完了となった。
第2期	2022年度	消防署横倉庫の整理整頓及び不用品の処分。 現場事務所の整理整頓及び不用品の処分。	進捗していない	消防署横倉庫内の資材の一部について引っ越しを実施。不用品の処分については、建物解体時に処分を行う。
	2023年度	消防署横倉庫の整理整頓及び不用品の現場事務所への引っ越し。 現場事務所の整理整頓。		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 45 年
建物延面積	97.20 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	廃止とする。

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	除雪機械格納庫		No.	262
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の策定予定の有無

担当部署名	建設部土木課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	大田市で所有している除雪車は8台です。本施設には除雪車4台を保管し、残りの除雪車4台は旧大田消防署建物に保管しています。除雪車の盗難防止や維持管理のため、建物内に除雪車8台が保管できる必要規模の建替えが必要になる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	課内で情報共有と方針（案）の検討		本施設はスペースが狭く、除雪車8台を全て保管することが出来ない。課題は、一部の除雪車は別の場所へ保管しなければならない。保管できる市有地を探す必要がある。
第2期	2022年度	課内で情報共有と方針（案）の検討	取り組みが実施できていない	除雪車の配置・保管が可能な市有地を探索する。
	2023年度	課内で情報共有と方針（案）の検討		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	176.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	除雪車格納庫
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	現場事務所		No.	263
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	建設部土木課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	⑥縮小建替え
『該当する』を 選択した理由	市道管理上必要な資材等(安全施設や放置物も含む)を保管するため、旧消防署横倉庫から現場事務所へ移動した。現在、2階建の建物になっており、必要最小限で縮小の建替えをする。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	消防署横倉庫からの資材引越								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 課内で情報共有と方針（案）の検討 消防横倉庫からの資材の引っ越し		2階建の建物を解体し、資材置き場として必要最小限で縮小の建替が必要である。どれぐらいの規模にするのか。盗難防止対策など課題がある。
第2期	2022年度 課内で情報共有と方針（案）の検討 消防横倉庫からの資材の引っ越し	進捗していない	資材置き場として必要な規模について検討する。
	2023年度 課内で情報共有と方針（案）の検討 消防横倉庫からの資材の引っ越し		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	53.51 m <sup>2</sup>
構造	軽量鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	道路補修等職員現場事務所
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設の写真】





## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							